

JCC2015 主催勉強会 「国連防災世界会議、及びアジア防災閣僚級会合に向けて」

- 日時：2014年6月12日（木）14:00～17:00
- 会場：東京・早稲田奉仕園 AVACO ビル 6階スカイラウンジ（東京都新宿区西早稲田2-3-1）
- 主催：2015防災世界会議日本CSOネットワーク（JCC2015）

■実施背景・目的：

6月22日～26日、「第3回国連防災世界会議 in 仙台」のアジア太平洋地域の準備会議である「第6回アジア防災閣僚級会議」がバンコクにて開催されます。この会議には、アジア各国の閣僚らや防災や災害救援に取り組む国際NGOも参加し、2015年以降の国際的な防災の指針「兵庫行動枠組2（HFA2）」策定に向け、その内容について地域レベルでの議論が展開されます。

JCC2015では、共同事務局を務める国際協力NGOセンター、CWS Japan、ピースボート災害ボランティアセンターから代表団を派遣するほか、ネットワーク幹事団体・参加団体からも多くのスタッフが今回のバンコク会議に参加を予定しています。会議参加にあたり、いま一度広く日本のCSOの声を集めるため、JCC2015では勉強会を開催しました。

■内容：

- ・概要紹介と活動報告 国連防災世界会議とJCC2015の取り組み
- ・概要と派遣団の紹介 第6回アジア防災閣僚級会議での活動について
- ・活動報告 仙台、福島での動き、仙台会議に向けた各団体の取り組み
- ・ワークショップ 世界に伝えるべき日本の経験と教訓を考える

■参加：29団体31名（内訳は以下の通り）

アジアパシフィックアライアンス／アユス仏教国際協力ネットワーク／ウィメンズアイ／教育支援グローバル基金／Climate Youth Japan／ケア・インターナショナル ジャパン／国際協力NGOセンター／国際公務労連／CWS Japan／自立生活サポートセンター・もやい／CSOネットワーク／シャンティ国際ボランティア会／JIM-NET／真如苑／世界宗教者平和会議日本委員会／全日本水道労働組合／創価学会／ダイバーシティ研究所／男女共同参画と災害・復興ネットワーク／地域連携プラットフォーム／チャイルド・ファンド・ジャパン／難民を助ける会／日本リザルツ／日本YMCA同盟／ピースボート災害ボランティアセンター／ふくしま連携復興センター／ふくしま地球市民発信所／プラン・ジャパン／ワールド・ビジョン・ジャパン

■当日の様子：



JCC2015 事務局長の堀内葵から、国連防災世界会議の解説と、JCC2015のこれまでの活動報告、続いて、「第6回アジア防災閣僚級会議」の概要説明の後、この会議に向けた福島での動きと派遣代表団のメンバーを藤岡恵美子（ふくしま地球市民発信所）が紹介。また、島善弘氏（ふくしま連携復興センター）からは、会議での活動予定や発信内容についてご報告いただきました。バンコクからスカイプ参加した小美野剛（CWS Japan）からは、会議直前のバンコクでの動きについて報告がありました。

後半は、合田茂広（ピースボート災害ボランティアセンター）から「第3回国連防災世界会議 in 仙台」に向けた、仙台市や仙台市内のNGO/NPOの動きについて紹介しました。その後、ワークショップ形式で「市民のための防災会議にするためにできること」を話し合いました。グループごとに活発な議論が展開され、すでに「第3回国連防災世界会議」への具体的な活動を始めている団体、これから活動を始める団体の双方が意見交換できる貴重な場となりました。